

令和5年度 延岡市立西小学校 学校関係者評価書

4段階評価 4・・・期待以上 3・・・ほぼ期待通り 2・・・やや期待を下回る 1・・・改善を要する

本年度の重点目標
 ○学びづくり（よく勉強する子）【知】・・・めあてをもって主体的に学び続ける子どもを育てます。
 ○心づくり（仲良く助け合う子）【徳】・・・自分のよさを知り、互いに認め合い主体的にかかわりをもとうとする子どもを育てます。
 ○体づくり（がんばりぬく子）【体】・・・体（命）を大切に、主体的に健康づくりに努める子どもを育てます。

評価項目：学びづくり	◎ めあてをもって主体的に学び続ける子どもを育てます。
------------	-----------------------------

重点目標	学校の自己評価コメント（○成果、●課題、☆改善策）	自己評定	学校関係者評定	○学校関係者評価コメント
ア 指導力の向上	○年度初めに学習の決まりや板書・ノート指導などについて確認した。また、百マス計算についても共通理解をした。 ●その後、継続的に取組状況の確認ができていないので、職員研修等で定期的に確認していく。 ☆教科主任会等で学んだことを全体に共有化する。	3	3.2	○学校関係者評価コメント ・児童の能力に応じた指導は、教師の一番の役割だと思います。各個人の判断や研修等で学んだことが活かされていると思います。 ・年に数回ほど授業の様子を見学させていただいていますが、どの授業も先生方の愛情のこもったかつ熱心な教え方をされているのが印象的です。 ・貴校の先生方はよく指導されていると思います。自身にも留意しながら今後もよろしく願います。何事も共有化は大事だと思います。 ・他校ではタブレットを使って板書を撮影しているようだが、保存後の活用が気になっています。ノートに書くことも大切ではないでしょうか。
イ 読書指導の充実	○「ノーマディア」から「メディアコントロール」の取組に変更したことが、実態に合っていてよかった。 ○回覧図書やなかよし読書、図書館祭りなどで読書指導の充実を図ることができた。 ●学校経営ビジョンでは、年間読書量の目標が35冊だったが、達成度には個人差がある。 ☆同じ作者の本を読むなど、その後の読書活動に繋がりたい。	3	2.8	・メディアコントロールは児童の能力や興味によって格差が出ると思います。読書やメディアに興味や楽しさをもたせ、やったことに喜びを感じさせる評価が大切だと思います。 ・子どもたちがどのような読書環境にあるのか直接目にする機会はありませんが、子どもたち一人一人に合った取組がなされているようです。 ・どんな本がよく読まれているのか、その内容や傾向が知りたいです。 ・本はいくら読んでも終わりのない数列のようなものだと思います。1冊の人は2冊に、2冊の人は3冊に、3冊の人は4冊に。絵や文字の楽しさを継続して味わってほしいです。 ・「自学1回お休み券」を担当の先生が取り入れている。読書にも何かインセンティブを取り入れると良いのでは。

ウ 特別支援教育の充実	<p>○個別の支援ファイルや個別の指導計画をもとに、学級担任と専門チームと連携して支援の充実を図ることができた。</p> <p>○配慮が必要な児童等の情報をもとに、ケース会議及び対策会議を開き、その都度検討・共通理解し、全職員で対応することができた。</p> <p>○年度初めは、放課後デイサービスへの確実な引き渡しのシステムがうまく機能しないことがあったが、確実な引き渡しができるように、「報告・あいさつ」を徹底し、関係機関とコミュニケーション等を密に児童の見届けができるようにした。</p>	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学校の児童は一人一人個性があり、能力や発達障がい、理解力、興味、反応に大きな違いがあり、教育指導は難しいことと思います。一人一人の反応を見て、学ぶことや対人関係、興味を早く見付け、少しずつ新しい発見が見付けられると良いことと思います。他児との関係はもちろん、保護者等との共通理解、共通対応が必要だと思ひます。 ・先生、児童の皆さんが笑顔で互いに接している姿は素晴らしいと思ひます。 ・支援が必要な児童は、引き続き支援の充実をお願いします。
-------------	---	---	---	--

評価項目：心づくり	◎ 自分のよさを知り、互いに認め合い主体的にかかわりをもとうとする子どもを育てます。
-----------	--

重点項目	学校の自己評価コメント（○成果、●課題、☆改善策）	自己評定	学校関係者評定	○学校関係者評価コメント
ア 信頼関係を基盤とした学級づくり	<p>○教育相談の時間を活用して、信頼関係を築くことができた。</p> <p>○問題が起きたときに、双方の話を聞き、解決に努めた。</p> <p>○気になる児童の様子を職員全体で把握できる機会が増えた。</p> <p>●継続して指導していくことが今後も必要である。</p>	3	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ・信頼関係は相互理解と共感、喜びを感じ合う場面を多くつくることであり、認める、助ける、褒め合う場面を多く見付け、そういった場面をつくっていくことだと思います。 ・職員全体での把握は引き続き続けてほしいです。 ・信頼関係は、あいさつ、対話、行動が基本だと思います。更なる向上をお願いします。職員の皆さん全体での共有化は素晴らしいと思ひます。
イ 基本的な生活習慣の定着	<p>○家庭との密な連携を各学級で取り合うことができた。</p> <p>●「む（無言清掃）す（進んであいさつ）み（右側一列廊下歩行も（持ち物を大切に）ち（チャイム黙想））などの合い言葉は児童に浸透しているが、徹底がされていない。</p> <p>☆各委員会活動とも連携して学校全体で継続して指導していく。</p>	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・学校での行動、姿と家庭とでは多少違うと思ひます。家庭と密接な連絡を取り、家庭での基本的な生活習慣、食習慣、手伝い等を知ることで、社会生活での基本的な生活習慣が身に付き、行動することに喜びを感じるように支援していくことが必要だと思います。 ・貴校の児童の皆さんは、立派に生活習慣ができていると思ひます。 ・他校では堂々と居眠りをする生徒を見かけます。児童生徒の中には、夜遅くまでゲームをしているという話を良く聞きます。
ウ 人権教育の充実	<p>○今年度は、外国人への偏見や差別に関する研修を行った。今後の児童の多様性を考えると、必要な内容だった。</p> <p>○人権週間と人権月間の中で、命を大切にする授業の取組と人権に関する授業及び標語を作成する取組を実施し児童の意識を高めた。</p> <p>○道徳や学級活動の授業及び日常の学校生活の中で人権意識を育てられるような関わりを行った。</p>	3	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ・人権は人が生きていくため社会生活、特に対人関係を上手にしていく時、最も大切であると思ひます。お互いを尊重し、喜び合い認め合うことが大事だと思います。家庭で児童がどんな環境（貧困、単親世帯、障害の有無等）であるか知ること大切だと思います。 ・児童の皆さんに人権教育を行うことは大変だと思います。外国人への偏見や差別に関する研修を行ったことは、具体性があり素晴らしいと思ひます。多様性や障がいについての人権教育もあわせてお願いします。

評価項目：体づくり	◎ 体（命）を大切にし、主体的に健康づくりに努める子どもを育てます。
-----------	------------------------------------

重点目標	学校の自己評価コメント（○成果、●課題、☆改善策）	自己評定	学校関係者評定	○学校関係者評価コメント
ア 体力向上	<p>○朝の時間と昼休み時間にほとんどの児童が外に出て運動する姿が見られた。</p> <p>○職員室前の廊下に握力計を置くことで、こども達が興味をもって測りに集まり、意識づけができた。</p> <p>●体力向上プランでTスコアが50以下の学年が多く、体力の向上が図られなかった。</p> <p>●体育館のものを中心に、体育備品が少ない。</p> <p>☆体力向上のために、今年度行ってきた取組みが形骸化しないように、年度初めに十分に協議し、継続的な指導を行っていく。</p> <p>☆注文できる額に限度はあるが、毎年要望をする。</p>	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・体力向上は、基本的にはその児童の生活歴、医療歴にあると思います。今現在の身体的能力に応じて、その児童に合った運動、スポーツを奨励し、その運動を継続して行うよう行動することに喜びと意欲をもてるようにしていくことが大切だと思います。一定の期間で評価してあげ、自分のやってきたことに喜びを感じるようにしてあげられたら良いと思います。 ・時折、昼休み時間に元気よく運動場で運動している姿を見かけますが、気持ちの良いくらい元気に走り回っています。 ・運動会の様子を見させてもらいましたが、体力は学年ごとに十分あると感じます。体力向上のための備品については、当初予算査定時に増額して計上してもらえよう訴えてください。 ・体力の低下は全国的な傾向のようです。専門的な原因追及と対策が必要ではないでしょうか。 ・子どもたちは、体を動かしたくても使える備品が少ないと遊び方も決まってしまうですね。また、今の子どもたちは遊び方を知らないのでは。体を使った遊び方をたくさん教えてあげたら、もっと体力もついてくるのではないのでしょうか。
イ 命を大切にする教育	<p>○本年度も第4学年で「命の教育出前授業」を参観日で実施することができた。</p> <p>○「性に関する教育」を学年や学級の実態に応じて、養護教諭と連携して授業を行った。</p> <p>☆来年度も引き続き授業計画を充実させて、養護教諭と積極的に連携していく。</p>	3	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ・児童虐待やいじめは、他人の見えないところで行われることが多いです。表情やおどおどした行動、意欲、会話、衣服の汚れや着替えの有無、体臭や身体の傷等があるなど先生たちが早めに気付くことが大切です。自殺などあってはならないことです。命の大切さ、性教育等年齢に応じた教育が必要だと思います。専門機関の介入が必要な場合もあります。 ・具体的に実施されており素晴らしいと思います。今後もよろしく願います。 ・「命の教育」は他学年に広めてもいいのではないかと。
ウ 施設管理と安全教育の徹底	<p>○安全点検は定期的の実施し、危険な箇所に関しては学校技術員と連携して、迅速に対応できた。</p> <p>○避難訓練は、計画通り実施できた。関係機関のアドバイスを受けて、改善できた。</p> <p>●地震の避難訓練の想定が固定化している。</p> <p>☆様々な発生パターンを想定した避難訓練を実施する。</p>	4	3.8	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の安全管理は、けがや命に関係するものです。常に学校内外の安全点検を行い、教師だけでなく児童も危機意識をもつことが大事だと思います。台風、水害、竜巻、落雷や地震津波、家屋倒壊、山崩れ等自然災害が多くなっています。災害に対する危機意識をもち、避難訓練の実施や避難場所の確認、家庭や地域との連携が必要だと思います。また、交通事故防止も大切です。

				<ul style="list-style-type: none"> ・登下校中に地震が発生した場合など、個別の避難方法を家庭も含めて計画、指導してほしいと思います。 ・学校運営協議会委員と保護者、職員による防災研修で出された意見が反映されるといいと思います。 ・校区内で横断歩道表示の要望箇所はありませんか。私達も設置箇所の発見は必要ですが、少しでも協力できればと思います。
--	--	--	--	---

評価項目：信頼される学校づくり	◎ 地域の実態や特性を生かし、児童を学校・家庭・地域が共に育てるための連携強化を推進する。
-----------------	---

具体的な取組	学校の自己評価コメント (○成果、●課題、☆改善策)	自己評定	学校関係者評定	○学校関係者評価コメント
ア 幼保小連携の充実と小中一貫教育の推進を図る。(縦の接続)	<p>○恒富中学校や恒富小学校の先生方と統一して指導をしなければいけないことを理解できた。</p> <p>○生徒指導や特別支援教育でも、中学校区内で報告・連絡・相談することができているように感じる。</p> <p>○幼稚園・保育所との交流や、次年度の1年生の引継ぎをうけるため連携はできている。</p> <p>☆コミスクや学校間交流を通じた教育的活動ができることより接続がうまくいくのではないかな。</p>	3	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ・恒富地区には、保育所や幼稚園、小学校、中学校、高等学校が一定の地域にあり、環境も大変恵まれています。それらで一貫した指導ができ、交流もできています。地域の歴史や文化、伝統との関係も深いです。学校教育の向上にとっても良い環境にあると思います。 ・おたすけ隊として参加した際、中学校の数学の授業で感じることは、小学校でのかけ算九九や分数計算ができずに数学嫌いになっている生徒を多く見かけるといことです。 ・社会での異業種間交流は以前から聞きますが、学校も縦・横・斜めの連携は重要だと思います。
イ 積極的な情報の発信と受信に努める。(横の接続)	<p>○保護者、福祉機関(放課後デイサービス等)との情報共有を行うことができた。</p> <p>○各種の通信や、メール配信等で、情報発信ができています。</p>	3	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭と学校そして地域との連携は必要だと思います。学校通信やメール配信、参観日、学校行事等で情報の発信を増やすことで、児童の様子や学校の活動の状況が見えてきます。 ・西小ホームページが楽しみです。これからもよろしくお願いします。
ウ 地域の人的・物的教育資源を積極的に活用する。(横の接続)	<p>○朝の登校見守りや、本の読み聞かせ等、たくさん協力をいただいて、成果が上がっている。</p> <p>○社会科や総合的な学習の時間等で地域教材を扱う学習ができた。講話をしていただくこともあった。</p> <p>●教科と結びつけて実施することが難しかった学年もある。</p> <p>☆地域の人的・物的資源を知っているのは、そこに住んでいる方々だと思うので、その方々を活かす学校にしていきたい。</p>	2	2.8	<ul style="list-style-type: none"> ・西小学校の周辺には、五ヶ瀬川、愛宕山、天主山、沖田ダム、岩熊井堰、歴史ある神社やお寺、旭化成等があり、歴史、文化、伝統、行事、祭りなど資源に恵まれています。地域の行事や祭りに参加し、学習にも生かせると思います。人的資源も多様にあります。これからの活動が広がっていくと思います。 ・児童の皆さんが列になって歩いている姿を見て「どこへ行くの?」と聞いたら「社会科見学」と言っていました。素晴らしいと思います。 ・最近は地区での子ども会などが減ってきており、区に入っていない家庭もあるなど、地域と家庭とのつながりが薄くなってきている気がします。学校と地域の人と一緒に活動できる行事があると

				<p>良いと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者を通じて活用できる資源について意見を募ったり、協力を依頼してもいいかもしれません。PTAの「家庭教育学級部」の活動にするなど。
エ 学校経営の工夫・改善を進め、地域社会から信頼される学校づくりを進める。 (横の接続)	<ul style="list-style-type: none"> ○感染症が流行したことで、様々な行事や活動の必要の有無を考えることができた。 ○地域の方々の理解を得られるように、職員が努力していると感じる。 	3	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の拡大で、ここ数年学校行事の中止、会話や行動制限を余儀なくされました。1月1日の能登半島地震では家屋が倒壊し、火災や土砂崩れ、港の隆起、道路の陥没等の影響で食糧不足など生活困難になっています。何が起きるか分からない今の時代、危機意識をもって日頃の備えが必要だと思います。 ・地域も同様の課題があると思いますが、貴校の更なる発展を望みます。
オ コミュニティ・スクールの推進に努める。 (横の接続)	<ul style="list-style-type: none"> ○学校運営協議会委員や保護者と、防災教育に関する話合いができたことはとても良かった。 ☆地域と保護者、学校が1つになれるような取組が必要だと思う。 	2	3	<ul style="list-style-type: none"> ・学校、保護者、地域との連携を図り、地域資源や人的資源を生かし、児童が積極的に参加し、地域を知り、誇りに思い、喜びを感じるような活動がこれからの主役になると思います。 ・今後の地域と一体となった取組に期待しています。 ・今後も計画してほしいです。 ・今後もコミュニティ・スクールに協力していきたいです。先生方と1つのテーブルで話し合ったことはとても良かったです。先生方の適切な対応に感服しました。 ・区長や民生委員のみならず、子ども食堂など地域で活動する団体との意見交換などにより、情報を共有する場があっても良いと思います。